



舞を披露する大島輝久さん（福山市の沼名前神社能舞台で）

平和祈る能

鞆の沼名前神社

能楽喜多流の福山喜多会 福山市鞆町、沼名前神社の

による「新春能楽祭」が、能舞台（国重文）で催され、

07/01/07 読売新聞

back

約200人が厳肅さの中に力強さを漂わせる舞や謡を堪能した。

新年を祝って行われ、今回で12回目。喜多流大島家4代目の大島政允さん（64）らが天下太平や五穀豊稔を祈る「翁」を奉納、政允さんの長男で5代目の輝久さん（30）も祝言の曲とし

て知られる仕舞「高砂」を披露した。

参拝客らは、豊臣秀吉が作ったとされる歴史的な舞台の上で、笛や鼓に合わせ、神々しく演じられる舞をじっくり鑑賞。昨年に見て来たという同市本町、アルバイト店員土田悠子さん（27）は「今年の舞台

は厳かな雰囲気、昨年とは違った魅力が味わえました」と満足そうに話していた。

21日午前11時～午後5時には、同市光南町の喜多流大島能楽堂で「新年初謡会」も開かれる。入場無料。問い合わせは同能楽堂（084・923・2633）へ。